

令和6年度 北区立滝野川第四小学校 学校経営計画

1 教育目標

教育目標は、日本国憲法や教育基本法、学習指導要領等の関連法令を受け、東京都教育委員会の基本方針、北区教育ビジョン2024、地域や子どもの実態等を踏まえ、本校の教職員、保護者、地域の願いを集約したものである。言い換えれば「保護者や地域の方々に、本校はこういう子どもを育てますと宣言し、約束したもの」である。

したがって、公教育の中で日々の教育活動や学校行事、1時間1時間の授業、さらには校内研究等すべてが教育目標達成に向かった過程となる。

「滝四小 教育目標」		
◎	自ら学び合う子ども	(知)
○	自ら進んでやる子ども	(徳)
○	互いに助け合う子ども	(徳)
○	じょうぶな子ども	(体)

2 目指す学校「ONE TEAM 滝四」

創立104周年の歴史と伝統と校風を継承、さらに発展させ、保護者や地域に開かれ、柔軟で活力ある、質の高い教育を進める。そして、各主任を核として、

- 子ども 「学んでよかった」
- 保護者 「通わせてよかった」
- 卒業生 「滝四小でよかった」
- 地域 「応援したくなった」
- 教職員 「働きがいがある」

と実感できるような滝野川第四小学校とする。

そのために、教職員一人ひとりの役割分担達成への努力と全教職員が一体となった組織的な教育（地域愛・共通行動・情報の共有・既成概念からの脱却）の運営に努めると共に、保護者や地域との連携をより深め、

- (1) 一人ひとりを大事に育てる滝野川第四小学校
 - (2) 明るく楽しくさわやかな滝野川第四小学校
 - (3) 規律と品格のある滝野川第四小学校
 - (4) 学ぶ喜びや誇りのもてる滝野川第四小学校
 - (5) 笑顔とあいさつがあふれ、安全で安心して通うことのできる滝野川第四小学校
- を目指し、日々世の中の情勢に合わせたうえでの学校経営に努める。

※管理職としての信念（4つのキーワード）

- ・ 地域愛（滝四が一番校！共に子どもを育てていく！）
- ・ 共通行動（こうしようと決めたことを学年・全教職員が実践していく！）
- ・ 情報の共有（決して一人では抱え込まない！悩まない！）
- ・ 既成概念からの脱却（よいことは即実践！）

3 目指す学校像

「教育先進都市・北区」のさらなる充実と発展を目指すために策定された『北区教育ビジョン2024』（まなび ささえ つなぐ の実現）及び本校の教育目標を踏まえ、児童・保護者・地域の期待や願いに応える学校を目指す。

笑顔とあいさつがあふれ、共に学ぶ滝四小

「**笑顔**」：児童の表情や顔つきは、心情や心のありさまをよく表しているもの
学校生活（学習・友達関係・各活動・健康な体）全般における満足感や充実感を表出したもの
⇒自己肯定感、自己有用感、自尊感情を高めていく（学校教育相談）

「**あいさつ**」：相手を意識してはじめてあいさつができる
自分以外の人を認め、大切に思い、思いやりの心をもつ
教職員が手本・率先垂範！ 家庭や地域と共に！
⇒他者に対する思いやりの心を育てる（人権教育）

「**共に学ぶ**」：児童にとって質の高い学びを実現するためには、全教職員が学び、指導力を高め、自己啓発に努めなければならない
時代とともに移り変わる課題に迅速かつよりよく把握・対応・解決していくため、常に研究と修養に努め、互いに高め合う
⇒児童が学ぶと共に、教職員も常に学ぶ姿勢に努める（研究と修養）

4 中期目標と方策

（1）確かな学力に基づく自己教育力の育成【知育】

- ① 日々の授業評価や定着度調査等から課題を探り、全教職員で共有し、個に応じた細やかな学習指導に努める。
- ② 思考力・判断力・表現力・探求力を向上させるため、問題解決型学習や協同的学びを推進する。
- ③ 各教科等で関心・意欲を高め、主体的に学び、学んだことを生かすよう、各教科等の特性や学びの実態等を踏まえ授業を構成する。
- ④ G I G Aスクール構想の実施による一人一台端末の導入を機に、特別な支援を要する児童を含め、誰一人取り残すことなく個別で最適な指導を進める。また、端末の操作を習熟し、多様な活用をする授業の創意工夫に努める。

- ⑤ 従来の教科書やノート、板書、資料等を使用した授業形態とICT（北コン）の活用をバランスよくした学習指導の実践に努める。

（２）地域から学ぶ開かれた学校【知育】

- ① 自らが育った地域を愛する心情を養い、将来地域に貢献する児童を育てるため、地域の歴史や社会とのつながりを図った学習を展開する。
- ② 教育活動において、地域や町を重要な学習フィールドと捉え、地域の特徴を生かした課題を設定し、地域の人材を活用した学習を展開する。
- ③ 本校が保護者や地域の人々に支えられ、本校への教育活動への期待が大きいことを強く意識し、学校の公開や情報発信、外部の意見をできる限り取り入れていく。

（３）規範意識と思いやりの心をもつ人間性豊かな児童の育成【徳育】

- ① 児童の行動指針に基づく「あいさつ」「丁寧な言葉遣い」等基本的な生活習慣が身に付くよう指導を継続していく。
- ② 児童が互いの良さに気づき、認め合い学び合える学級、学年とし、一人ひとりの良さを伸ばす指導を継続していく。
- ③ 異学年交流を推進し、他者に対する思いやり、敬意の気持ちを育み、自身の役割と責任を自覚し、主体的で自律的な社会性を養う。
- ④ 「いじめは絶対にダメ！」その根絶に向け「未然防止」「初期対応」「丁寧な対応」を徹底し、一人で抱え込むことなく学年・学校全体で取り組んでいく。
- ⑤ 「他者を思いやる心」「自己肯定感」「自己有用感」「自尊感情」の育成を図り、豊かな心を育む。
- ⑥ 学級・学年での主体的な活動を通し、児童の所属感や責任感、集団の一員としての喜びを感じさせ自治的な学級・学年とするよう努める。
- ⑦ 「ふれあい月間」やWebQ-U調査等の結果分析や考察を実施し、児童の実態を全教職員が共有できる組織とする。
- ⑧ 「北区SNSルール」を自他の人格を尊重する等、なぜ守らなければならないのかをわかる指導をする。

（４）心身の健康・体力の向上と安全指導の充実【体育】

- ① 児童の抱える諸問題を正確につかみ、組織として解決を図るとともに、家庭や外部機関との連携を密にし、個に応じた支援を進める。
- ② 児童の実態に基づいた授業改善を進め、多様な運動に取り組ませる機会を設け運動に親しませ、体力の向上を図る。
- ③ 校内の安全点検の結果を検証し事故の未然防止に努める。
- ④ 緊急時の安全確保に関し、防災・避難計画の該当計画の改善を図る。
- ⑤ 「北区ガイドライン」の内容を遵守し、校内における感染症予防・防止対策を怠ることなく、児童への指導、保護者通知等を徹底する。

(5) オリンピック・パラリンピック教育の継続とその精神の継承【体育】

- ① スポーツの価値、オリパラ教育で培った国際理解のもと、ボランティア精神や心の多様性、SDGs等を包括する学習計画の策定に努める。

(6) 働き方改革・サービスの厳正

- ① 国・東京都・北区「働き方改革」のガイドライン答申、策定、実施に伴って教職員の勤務形態の見直しを図り、勤務の軽減を推進する。
- ② サービスの厳正として「わいせつ行為」「セクハラ」「体罰・暴言」「個人情報管理」「飲酒・自家用車の運転」「届け出た通勤経路」「利害関係者・SNSの不正利用」「会計事故」「職務命令・法令の遵守」等について絶対にサービス事故が起きないように日々指導徹底する。
- ③ 会議等は開始時刻、終了時刻を厳守する。また会議の精選に努める。
- ④ 働き方改革の一環として「留守番電話」機能を活用する。
(平日午後5時半から翌日午前7時45分、祝休日は終日機能稼働)

5 今年度の取組目標と方策

【学習指導要領の確実な実施】

「学習指導要領」の内容や方向性を今一度振り返り、育成すべき資質・能力の3つの柱【知識・技能】【思考力・判断力・表現力等】【学びに向かう力、人間力】をしっかりと捉え、その具現化を目指し、授業改善、工夫に取り組む。

【GIGAスクール構想による実践の継続】

一人一台端末を活用し、資質・能力が一層確実に育成できるよう北コンの環境を構築する。また、これまでの教育実践と北コンをバランス良く取り入れた教育活動を進める。そして、児童が端末を自在に使用し、デジタル教材コンテンツを有効活用できるよう指導する。

【学校生活のモットー「あ・い・う・え・お」の見える化】

あ…あいさつ（挨拶） い…いのち（命） う…うんどう（運動）
え…えがお（笑顔） お…おもいやり（思いやり）